

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和6年3月15日

コミュニティ名 効果的な「自立活動」指導のための研究推進チーム
代表者所属名 京都府立井手やまぶき支援学校
代表者職・氏名 教諭 栗林 眞子

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

効果的な「自立活動」指導のための研究推進チーム

2 研究テーマ

児童生徒の実態に基づく効果的な自立活動の指導について
～「流れ図」意識調査アンケートの実施及び「流れ図」を用いての実態把握から具体的な指導内容の検討～

3 研究の目的

今年度の研究としては、「自立活動」について研究テーマを2つに設定する。①特別支援学校における「自立活動」の指導について、「流れ図」意識調査を行い、活用のきっかけを作ること②「流れ図」の実用的な内容の検討のため、実践例を共有・交流し、実態把握から効果的な指導内容の検討を行い、「流れ図」の活用について広めることを目的とする。

4 研究の成果と課題

【成果】
・学習指導要領の「流れ図」から書式の項目や内容について、工夫点を話し合い、ポイントになる箇所の整理をすることができた。
・実際に作成及び活用している「流れ図」の事例検討から、記入する上での重要なポイントを再確認することができた。

・「流れ図」意識調査アンケートを実施したことで、「流れ図」活用に対する様々な意見を知ることができた。

【課題】

・「流れ図」意識調査アンケートで挙げられた意見等をメンバーが勤務校でどのように活かしていくか。

・「流れ図」の効果的な活用に向けて、事例検討による研修及び活用方法の提案が必要である。

5 研究成果の波及方法

・メンバー一人一人が勤務校の状況を踏まえ、自立活動担当者をはじめ校内で連携を図りながら、組織的に「自立活動」の効果的な指導の充実に向けて取り組んでいく。

・「流れ図」の作成と活用における分かりにくさを解消できるようなハンドブックや枠組み案の検討

6 研究（活動）実績

年月日	研究（活動）内容（具体的に記入）	活動場所
7月	研究会1 ・流れ図の実用的な活用に向けて意見交流 ・流れ図意識調査アンケートについて （目的や実施に至る経緯の確認）	井手やまぶき支援学校
8月	研究会2 ・流れ図における事例検討 ・流れ図意識調査アンケート項目の確認	井手やまぶき支援学校
10月	研究会3 ・流れ図書式における工夫点の意見交流	リモート
1月	研究会4 ・流れ図意識調査アンケート結果の共有	井手やまぶき支援学校